

# 2014日本遺伝看護学会 国際講演会

## パーソナルゲノム時代の到来

### —求められる看護とは—

21世紀は、分子遺伝学の時代と言われており、すべての医療者に、遺伝に関する知識は必須のものであるといわれています。

このたび、アメリカにて遺伝看護の実践、研究、教育を先駆的に推進してこられた Dr. Kathleen Calzone,氏を招聘し、遺伝看護の役割について、参加者の皆様と共有する機会を企画しました。遺伝医療に関心をお持ちの多くの方のご参加をお待ちしています。

日時：2014年11月29日（土）13時—16時  
会場：聖路加国際大学 302教室

プログラム：

- 1.日本における遺伝医療および遺伝看護職の現状  
日本遺伝看護学会 国際委員会 委員長 有森直子
- 2.米国における遺伝看護職の現状—遺伝医療の中での看護の役割—(逐次通訳あり)  
Dr. Kathleen Calzone, PhD, RN, APNG, FAAN

参加費：1500円（遺伝看護学会会員：学生 無料）

申込み方法：下記アドレスにご連絡ください  
（お名前、所属を明記してください）

\* 本件の問い合わせ申し込み先 問い合わせ先  
有森直子 [kogai@slcn.ac.jp](mailto:kogai@slcn.ac.jp)

大学へのご案内 <http://www.slc.ac.jp/>

～地下鉄にてご来校される場合～

東京メトロ 日比谷線 築地駅 3番出口または4番出口を出て、デニースと東京トヨペットの間を直進（徒歩3分）

東京メトロ 有楽町線 新富町駅 6番出口を出て、一つ目の道を右折して直進（徒歩5分）

主催：日本遺伝看護学会



Dr. Kathleen Calzone,  
Senior Nurse Specialist, Research

National Cancer Institute,  
Center for Cancer Research,  
Genetics Branch